

科目名	デッサン実習4							年度	2025
英語科目名								学期	後期
学科・学年	マンガ・アニメーション科 2年次	必／選	選4	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	青木聖吾、中田和彦			教員の実務経験		有	実務経験の職種		画家
【科目の目的】 基礎的なデッサン力を持つ学生が、クロッキーを中心とした実践的なトレーニングを徹底的に、人体や動きの把握力をさらに向上させる。観察力、表現力、描写スピードを高め、マンガ・アニメーション制作現場で求められる即応力のある表現力を身につけることを目指す。									
【科目の概要】 就職活動で活用できる実践的なデッサン力を習得します。									
【到達目標】 A. 人の体のバランスとプロポーションを正確かつ考えることができる B. クロッキーによって動きのあるポーズを瞬時に描き分けられる C. 光と影を効果的に使い、立体感や空間の印象を表現できる D. 短時間で複雑な構図を考え、安定した画面構成力を身につけることができます。観察力・描写力を高め、個性的かつ魅力的なキャラクター表現ができる									
【授業の注意点】 クロッキーは短時間で対象を考えてトレーニングです。常に集中力を見極め、観察力を最大限に活かして話し合います。失敗を恐れず、積極的に挑戦して描いて、日々の練習の積み重ねを大切にしてください。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	正確な人の身体バランスを瞬時に描ける	確かに正確に近い人体のバランスで描ける	ほぼ人の体のバランスは取れるがある程度の狂いがある	人の体のバランスが不安定で修正が必要	人体のバランスの把握が難しい				
到達目標 B	動きを瞬時に捉えて躍動感がある	動きを短時間で捉えて正しく表現できる	基本的な動きを大きく表現できる	進みにくい、不自然さが残る	動きのあるポーズが描けない				
到達目標 C	光と影の表現が巧みで、空間や立体感が豊かである	光と影を意識して立体感や思考を正しく表現できる	基本的な光と影を使いやすい立体感は表現できる	光と影の使い方が暫定で平面的である	光と影の表現が難しい				
到達目標 D	短時間で複雑な構図を正確に描写し、構成力に優れる	複雑な構図を短時間である程度描写でき、構成が安定している	複雑な構図をある程度描けるが、時間がかかる	複雑な構図を苦手が苦手で、構成がやや不安定	複雑な構図が捉えられず、構成が乱れる				
到達目標 E	個性的で魅力的な表現が際立ち、高い描写力がある	キャラクター表現に個性があり、安定した描写力がある	基本的なキャラクター描写ができる、個性も少し感じられる	キャラクターの個性が弱く、描写力に不安がある	キャラクターの個性や描写が不足しく、魅力に欠ける				
【教科書】 筆記用具、ノート、PC									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 作品提出および授業態度。時限出席率75%以下は課題提出しても不合格となります。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名	デッサン実習4							年度	2025

英語表記					学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	
1	人体クロッキー 応用①	人物描写をさらに洗練させる		筋肉や骨格の動きを意識したクロッキー・体幹の捻りや回転動作の描写	筋肉・骨格への理解深化	
				2～3分の高速描写練習	人体動作の精密描写	
					高速描写力向上	
2	人体クロッキー 応用②	より複雑な人体の動作の認識		ジャンプや空中動作の描写・重心や重力を意識した描写	重心・動きの正確把握	
				2～3分クロッキー連続描画	重力表現の描写力向上	
					動態表現の深化	
3	表情と感情表現	表情を短時間で豊かに描く		顔の表情クロッキー・感情表現の強調法	表情の描写力	
				1～2分での表情描写	感情表現の即応力	
					表情感情把握	
4	手足の細部描写	人の体の認識を正確に認識		手足の細部に特化したクロッキー	細部描写精度の向上	
				手足の動作パターン練習	手足の動き	
				1～3分クロッキー		
5	群衆・多人数クロッキー	複数の人物を短時間で安定して描く		群集や多人数の構図を描く	群集表現の把握力向上	
				前景・中景・背景を意識した描画	空間構成力の強化	
					多人数描写の迅速性	
6	背景と人物の関係	背景を含めた構図の描写力を向上させる		人物と背景の関連性を描く背景・との調和を意識したクロッキー	背景との調和表現	
				5分以内の背景を含めた描画	構図全体の把握力	
					空間描写能力向上	
7	特殊アングルの挑戦①	俯瞰・煽りなど特殊アングルを習得		俯瞰、煽り視点の描写練習	特殊アングルの描写力	
				画面に迫力を考える視点の研究	視点変化への対応力	

				短時間クロッキーで視点を入れる	人物プロポーション応用力		
8	特殊アングルの挑戦②	より複雑な視点を描く		とんでもない遠近法構図	迫真的な構図描写		
				画面に迫力を考える視点の研究	素早い視点把握力		
				短時間クロッキーで視点を入れる			
9	動物クロッキー	動物の動きを捉えて描く		動物の基本構造と動作描写	動物構造理解		
				2～3分クロッキー	動物の動態把握力		
					異種生物描写能力		
10	自由なテーマでクロッキー	自己の表現力を確認・発揮する		学生が設定したテーマで描く	自己テーマ設定力		
				自由クロッキー連続描画	個性的な表現力の確認		
				個性ある表現を意識	自主的な創造性の向上		
11	イメージクロッキー	想像力から描く能力を養う		記憶やイメージをもとに描写・短時間のイメージ描写演習	イメージ描画力の習得		
				描きたい構図を一時化	想像力の活用力		
					迅速な描画力		
12	ストーリークロッキー	物語性のある構図を描く力を学ぶ		物語や進行を意識した描写・シーンを連続クロッキーで表現	物語の構図力		
				3～5分の構図作成	ストーリー構成力		
					連続的な描写力		
13	動きの連続性描写	連続した動きを表現する能力を向上		連続動作を分解して描写	連続性動作描写力		
				アニメーションの連続描画	動きの流れ理解力		
					アニメーションの表現力		
14	デッサン総合課題	身につけた技術を総合的に実践する		総合課題として自由制作クロッキー・テーマ性のある作品の制作	総合的な描写能力確認		
				講評に向けた仕上げ	個性表現力の最終確認		
					技術の完成度向上		

15	作品展示・講演会	成果を共有し評価を行う	完成作品の展示とプレゼン・教員・学生間の相互評価・講評	表現力のプレゼンテーション力	
			卒業後の目標設定	相互評価による視野拡大	
				自己成長の確認と今後の展望設定	
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他					
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった					
備考 等					